

大船渡発

臼づくりが最盛期



大船渡市赤崎町で木工品を作っている「木づくり工房」では正月に向けた臼の製作が最盛期を迎えています。材料は気仙産のケヤキの木です。機械

を使って餅をつく部分を削ったあと「ちょうな」と呼ばれる道具で形を整えていきます。ひとつ作るのに1週間ほどかかるという臼づくり。年内いっぱい忙しい日々が続きます。(12/19 ニュースエコー)

宮古発

冬至 銭湯でゆず湯

二十四節気「冬至」のこの日、宮古市西町の銭湯、旭湯で恒例の「ゆず湯」が行われました。古くから冬至にゆず湯に入ると風邪をひかないと言われます。旭湯では、愛媛産のユズ200個を取り寄せたほか、陸前高田産のユズも使用。楽しみにしていたという人が訪れ、湯気の中に漂う甘酸っぱい香りを楽しみながら温まっています。(12/22 ニュース)



と風邪をひかないと言われます。旭湯では、愛媛産のユズ200個を取り寄せたほか、陸前高田産のユズも使用。楽しみにしていたという人が訪れ、湯気の中に漂う甘酸っぱい香りを楽しみながら温まっています。(12/22 ニュース)

大船渡発

洋風こたつ列車 初運行



靴のままこたつに入ることができる「洋風こたつ列車」が三陸鉄道南リアス線に初お目見えしました。イベント列車として使われるレトロ車両のボックス席のテーブルをこたつに仕立てました。車掌さんもレトロ列車に合わせ大正ロマン漂う衣装で雰囲気を盛り上げます。洋風こたつ列車は来年2月まで土日祝日を中心に運行されます。(12/22 ニュース)

靴のままこたつに入ることができる「洋風こたつ列車」が三陸鉄道南リアス線に初お目見えしました。イベント列車として使われるレトロ車両のボックス席のテーブルをこたつに仕立てました。車掌さんもレトロ列車に合わせ大正ロマン漂う衣装で雰囲気を盛り上げます。洋風こたつ列車は来年2月まで土日祝日を中心に運行されます。(12/22 ニュース)

宮古発

サケつかみ捕りに挑戦

宮古で鮭まつりが開かれ、恒例のサケのつかみ捕りに河川敷はにぎわいました。つかみ捕りは50人ずつ4回に分けて行われ、参加者は大漁旗が振られると一斉



に川に飛び込みます。少しでも大きいものを捕まえようと暴れるサケを追い回していました。また、会場では鮭汁も振る舞われ、訪れた人たちは熱々の鮭汁で体を温めていました。(12/23 ニュース)

釜石発

小中学生が壁画製作へ

釜石市内の小中学校の代表たちでつくる「かまいし絆会議」が、ボランティア「いわて・かまいしラグビー応援団」の一員としてラグビーW杯に向けた活動を始めました。子どもたちは、世界中からの復興支援に感謝を示す壁画を2つ製作して釜石鶴住居復興スタジアムに飾るほか、歌とPRビデオの制作にも取り組みます。(12/26 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

FMねまらいんの伊藤こずえさんが、「椿の里・大船渡 写真コンテスト2019」について話してくれました。募集するのはツバキの美しさ、魅力が伝わる写真です。大船渡にある「世界の椿館」ではツバキがきれいに咲き始めているので、素敵な写真を撮って応募してほしいと話していました。応募は年明け1月4日から世界の椿館で受け付けます。(12/26)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122